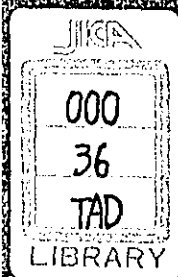


昭和59年度研修員受入業務の実施

〈年間計画〉

昭和59年4月

国際協力事業団
研修事業部



昭和59年度研修員受入計画について

1. 研修員受入予算

昭和59年度研修員受入事業予算のうち研修員受入に必要な経費は、9,568百万円となっているところ、これは前年度予算に比し2.9%増である。このうち昭和59年度通知予算としては、認可予算により64百万円が留保され、実行予算としては、9,504百万円となった。

2. 研修員受入計画人数

昭和59年度予算における研修員受入数は、4,146人となっているところ、これは前年度予算における受入数3,981人に比し、165人増となっている。これに対し昭和59年度における実行上の研修員受入数については、通知予算9,504百万円をもとに、受入形態別に所要経費の算定を行なった結果、4,753人の受入が可能となった。このうち、前年度からの継続研修員は705人であり、昭和59年度新規研修員受入数は、4,048人である（別添1、参照）。困みに、昭和59年度における研修員1人当りの受入総平均単価は、1,978千円（内訳 受入諸費1,263千円、研修諸費715千円）となる。

なお、昭和59年度においては、上記の他にASEAN青年招へい計画に基づく750人の受入が別途計画されている。

（参考）

区分 \ 年度	56	57	58	59
予算人数	3,450人	3,616人	3,981人	4,146人
受入総数	4,223	4,321	4,782	4,753※
新規受入	3,605	3,699	4,059	4,048※
継続受入	618	622	723	705※

※計画数

JICA LIBRARY

- 1 -



1033715[2]

3. 受入形態別及び地域別配分

(1) 受入形態別新規受入数

昭和59年度における受入形態別配分としては、集団受入55.0%、個別受入39.9%、特定枠3.9%、予備枠1.2%を計画した。これは、前年度計画に比し集団受入が1.2%減少し、個別受入が3.7%増加となっている。

(参考)

年度計画	形態	集 団	個 別	特定枠	予備枠	合 計
		昭和59年度	人数	2,226人	1,617人	155人
計 画 (A)	比率	55.0%	39.9%	3.9%	1.2%	100%
昭和58年度	人数	2,204人	1,419人	250人	50人	3,923人
計 画 (B)	比率	56.2%	36.2%	6.4%	1.2%	100%
差引 (A)-(B)	人数	22人	198人	△95人	0人	125人
	比率	△1.2%	3.7%	△2.5%	0%	0%

個別受入の増加理由は、新規に開始される韓国技能研修員受入(年間70人)等個別枠拡大要請に応え、主として単発、G・G枠及びカウンターパート枠を拡大したことによる。

(2) 地域別配分及び国別割当

① 地域別配分

昭和59年度における地域別配分計画については、前年度と概ね同様の配分を行なった。

(参 考)

地 域	昭和59年度		昭和58年度	
	割 当 数	比 率	割 当 数	比 率
ア ジ ア	2,224人	51.1%	2,202人	52.2%
中 近 東	659	15.1	605	14.3
ア フ リ カ	456	10.5	426	10.1
中 南 米	877	20.1	865	20.5
オセアニア	122	2.8	109	2.6
そ の 他	17	0.4	13	0.3
計	4,355	100.0	4,220	100.0

② 国別割当

国別割当計画については、(イ)在外公館を通じて実施した各国の要望調査結果、(ロ)関係省庁の要望調査結果、(ハ)各事業部のプロジェクトの進捗状況、(ニ)過去における受入実績等を勘案して割当を行なった(別添2、参照)。

4. 集団研修

(1) 集団コース

昭和59年度においては、各省庁等から47コースの新設要望があったところ、(イ)開発途上国の研修分野別ニーズ(要望調査結果)、(ロ)国内受入機関及び事業団国内支部等の要望、(ハ)事業団研修センターの入館率等を検討の上、新規に8コースを開設することとし、他方、既設コースについては各国からの応募状況、研修員の当該コースに関する評価等から見直しを行ない2コースを廃止し、10コースについて定員の増減を行なった(別添3,4,5参照)。

(2) 日墨交流計画

昭和46年度より開始された本計画は、メキシコ政府の財政事情等から、

前年度より受入規模が縮小されることとなったところ、昭和59年度においても墨側の要望に沿い、前年度と同数の55人を受入れることとした。このうち、事業団直轄分は33人、AOTS（海外技術者研修協会）委託分は22人である。

4. 個別研修

(1) 単 発

各国に対する研修員割当人数については、(イ)外交上の配慮、(ロ)過去における研修員の受入実績、(ハ)各国からの要請状況等を勘案して定めることとした。

(2) カウンターパート

昭和59年度においては、カウンターパート研修員の受入れ促進を図り、効率的な研修を行なうことを目的とし、受入計画数のうち約3分の1に相当する278人分について前年度内に早期通報を行ない、執行状況の改善を図ることとした。

各専門家及びプロジェクトに対する受入割当にあたっては、(イ)各関連事業部よりの事情聴取、(ロ)過去における研修員の受入実績、(ハ)各国からの要請状況等を勘案し、各事業部と協議の上定めた（別添6、参照）。

(3) 国際機関

昭和59年度の国際機関を通ずる研修員の受入数については、前年度と同様170名とした。

5. 特定枠（マレーシア東方政策）

マレーシア政府からの要請により実施した本計画にともなう受入は、(イ)受入方式及び研修形態が特殊であること、(ロ)1カ国を対象とする大量受入れであること、(ハ)マレーシア側の一部経費分担方式により受入れが実施されること等他の受入れと異なることから、昭和59年度においても特定枠を設けることとした。マレーシア政府からの昭和59年度における受入要請は、前年

度の250人から95人減の155人である。

6. 予備枠

集団受入、個別受入を問わず、(イ)緊急案件、(ロ)政策的判断に基づき対応を要する案件等に柔軟に対処するため、昭和59年度においては、前年度と同数の50人の予備枠を設けた。

別添1	昭和59年度受入計画表
別添2	昭和59年度国別割当表
別添3	昭和59年度新設集団コース
別添4	昭和59年度集団コースの新設改廃及び定員増減表
別添5	昭和59年度集団コース分類表
別添6	昭和59年度カウンターパート事業部別計画表

昭和59年度 受入計画表

区 分	59年度受入計画			区 分	58年度受入				
	コース数	人 数	延 月 数		コース数	当 初 計 画		受 入 実 績	
						人 数	延 月 数	人 数	延 月 数
1. 集団研修		人 (55.0%) 2,226	ヶ月 人月 @3.4 7,474.5	1. 集団研修		人 (56.2%) 2,204	ヶ月 人月 @3.4 7,453.0	人 (58.7%) 2,385	ヶ月 人月 @3.2 7,692.3
集団コース	191	2,171	@3.3 7,177.5	集団コース	185	2,149	@3.3 7,106.5	2,335	@3.2 7,457.3
日墨交流計画		55	@5.4 297.0	日墨交流計画		55	@6.3 346.5	50	@4.7 235.0
2. 個別研修		(89.9%) 1,617	@2.6 4,161.9	2. 個別研修		(36.2%) 1,419	@2.3 3,248.8	(35.9%) 1,456	@2.0 2,856.7
単 発		576	@2.6 1,487.6	単 発		435	@2.7 1,176.0	502	@2.2 1,085.7
カウンターパート		871	@2.7 2,385.3	カウンターパート		814	@2.2 1,790.8	807	@1.9 1,506.8
国際機関		170	@1.7 289.0	国際機関		170	@1.7 282.0	147	@1.8 264.7
3. 特 定 (マレーシア東方政策)		(3.9%) 155	@7.0 1,085.0	3. 特 定 (マレーシア東方政策)		(6.4%) 250	@6.0 1,500.0	(5.4%) 218	@5.9 1,282.0
4. 予 備 枠		(1.2%) 50	@1.0 50.0	4. 予 備 枠		(1.2%) 50	@2.4 120.0	0	
合計(1+2+3+4)		(100.0%) 4,048	@3.2 12,771.4	合計(1+2+3+4)		(100.0%) 3,923	@3.1 12,321.8	(100.0%) 4,059	@2.9 11,831.0
5. 継 続		705	@4.5 3,184.9	5. 継 続		723	@4.5 3,268.2	723	@4.5 3,278.1
総 合 計		4,753	@3.4 15,956.8	総 合 計		4,646	@3.4 15,590.0	4,782	@3.2 15,109.1

別添2

昭和59年度国別割当表

アジア地域

上段 58年度計画
下段 59年度計画

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
バングラデシュ	92	10			11	21	113
		1	9				
	90	5			9	14	104
		2	3				
ブータン	4	2			1	3	7
		2					
	9	2			0	2	11
		1	1				
ビルマ	93	5			22	27	120
		3	2				
	100	8			18	26	126
		3	5				
中国	74	75			67	142	216
		70	5				
	77	78			69	147	224
		75	3				
インド	67	4			3	7	74
		2	2				
	70	13			3	16	86
		3	3	7			
インドネシア	168	25			117	142	310
		13	12				
	156	30			130	160	316
		18	12				
大韓民国	73	29			9	38	111
		22	7				
	67	25			15	40	107
		15	5	5			
ラオス	1	0			0	0	1
		-	-				
	1	0			0	0	1
		-	-				
マレーシア	146	17			36	53	199
		5	12				
	132	12			43	55	187
		5	7				
モルディブ	6	2			0	2	8
		2	-				
	10	2			0	2	12
		2	-				

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
モンゴル	.1		4		0	4	5
		4	—				
	1		5		0	5	6
		5	—				
ネパール	52		3		18	21	73
		1	2				
	57		4		15	19	76
		2	2				
パキスタン	73		5		9	14	87
		3	2				
	75		9		10	19	94
		4	5				
フィリピン	164		20		74	94	258
		5	15				
	161		21		71	92	253
		10	11				
シンガポール	80		31		59	90	170
		3	5	23			
	69		40		59	99	168
		2	5	33			
スリ・ランカ	99		6		13	19	118
		2	4				
	95		6		11	17	112
		2	4				
タイ	168		24		89	113	281
		11	13				
	156		22		111	133	289
		8	8	6			
ヴェトナム	0		0		0	0	0
		—	—				
	1		0		0	0	1
		—	—				
ブルネイ	14		5		0	5	19
		5	—				
	18		5		4	9	27
		3	2				
香港	22		2		0	2	24
		—	2				
	22		2		0	2	24
		—	2				
小計	1,397		269		528	797	2,194
		154	92	23			
	1,367		289		568	857	2,224
		160	78	51			

中 近 東 地 域

国 名	集 団	単 発			C・P	個別計	合 計
		一般	特設	G・G			
アルジェリア	10	—	0	—	5	5	15
	9	3	3	—	1	4	13
バハレーン	7	1	1	—	0	1	8
	8	—	0	—	0	0	8
エジプト	98	2	2	4	28	32	130
	101	2	2	4	25	29	130
イラン	45	13	1	14	0	14	59
	50	26	—	26	2	28	78
イラク	46	20	1	21	2	23	69
	51	28	1	29	5	34	85
ジョルダン	16	1	1	2	0	2	18
	14	1	1	2	0	2	16
クウェイト	23	1	—	1	0	1	24
	19	1	—	1	0	1	20
レバノン	3	—	—	0	0	0	3
	4	—	—	0	0	0	4
リビア	3	—	—	0	0	0	3
	4	—	—	0	0	0	4
モロッコ	15	2	—	2	2	4	19
	18	—	1	1	5	6	24
オマーン	11	2	—	2	4	6	17
	11	1	1	2	2	4	15
カタール	6	1	—	1	0	1	7
	5	1	—	1	0	1	6

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
サウディ・アラビア	41	46			11	57	98
		45	1				
	50	47			3	50	100
		45	2				
スーダン	29	3			0	3	32
		2	1				
	33	4			4	8	41
		3	1				
シリア	12	1			0	1	13
		1	-				
	13	1			2	3	16
		-	1				
チュニジア	10	2			0	2	12
		2	-				
	10	1			0	1	11
		1	-				
トルコ	46	3			3	6	52
		3	-				
	48	4			6	10	58
		2	2				
イエメン	5	1			3	4	9
		1	-				
	9	0			3	3	12
		-	-				
南イエメン	2	1			0	1	3
		1	-				
	2	0			0	0	2
		-	-				
アラブ首長国連邦	14	3			3	6	20
		3	-				
	11	3			2	5	16
		2	1				
小計	442	108			61	169	611
		101	7				
	470	129			60	189	659
		116	13				

アフリカ地域

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
ベナン	1			0	0	0	1
	1	-	-	0	0	0	1
ボツワナ	0			0	0	0	0
	1	-	-	0	0	0	1
ブルンディ	1	-	-	0	0	0	1
	1	-	-	0	0	0	1
カメルーン	4	-	-	0	0	0	4
	5	-	-	0	1	1	6
カーボ・ヴェルデ	1	-	-	0	0	0	1
	1	-	-	0	1	1	2
中央アフリカ	3	1	-	1	0	1	4
	3	1	0	1	0	1	4
チャード	1	-	-	0	0	0	1
	1	-	-	0	0	0	1
コモロ	2	-	-	0	1	1	1
	2	-	-	0	0	0	2
コンゴ	1	-	-	0	0	0	1
	1	-	-	0	0	0	1
赤道ギニア	1	1	-	1	0	1	2
	1	-	-	0	0	0	1
エチオピア	12	3	-	3	1	4	16
	15	2	-	2	1	3	18
ガボン	4	1	-	1	0	1	5
	5	1	-	1	0	1	6

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
ガンビア	1		1		0	1	2
		1					
ガンビア	1		1		0	1	2
		1					
ガーナ	32		0		3	3	35
		-	-				
ガーナ	33		1		2	3	36
		1					
ギニア	5		3		0	3	8
		3					
ギニア	7		3		0	3	10
		3					
ギニア・ビサオ	1		0		0	0	1
		-	-				
ギニア・ビサオ	1		0		0	0	1
		-	-				
象牙海岸	4		3		1	4	8
		3					
象牙海岸	6		4		2	6	12
		3	1				
ケニア	60		4		27	31	91
		2	2				
ケニア	58		4		27	31	89
		2	2				
レソト	0		1		0	1	1
		1					
レソト	1		0		0	0	1
		-	-				
リベリア	17		2		0	2	19
		2					
リベリア	17		2		1	3	20
		1	1				
マダガスカル	5		1		1	2	7
		1					
マダガスカル	5		0		0	0	5
		-	-				
マラウイ	5		0		0	0	5
		-	-				
マラウイ	4		1		1	2	6
		1					
マリ	4		0		0	0	4
		-	-				
マリ	4		1		0	1	5
		-	1				
モーリタニア	1		1		0	1	2
		1					
モーリタニア	3		0		1	1	4
		-	-				

国名	集団	単発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
モーリシャス	1		1		0	1	2
		1	-				
	3		1		0	1	4
		1	-				
モザンビーク	1		0		0	0	1
		-	-				
	1		0		0	0	1
		-	-				
ニジェール	2		0		1	1	3
		-	-				
	2		0		0	0	2
		-	-				
ナイジェリア	34		3		2	5	39
		2	1				
	37		1		3	4	41
		-	1				
ルワンダ	4		1		2	3	7
		1	-				
	6		0		3	3	9
		-	-				
サントメ・プリンシペ	1		0		0	0	1
		-	-				
	1		0		0	0	1
		-	-				
セネガル	7		1		1	2	9
		1	-				
	8		0		4	4	12
		-	-				
セイシェル	3		3		0	3	6
		3	-				
	4		0		0	0	4
		-	-				
シェラ・レオーネ	4		1		0	1	5
		1	-				
	6		3		1	4	10
		3	-				
ソマリア	5		0		0	0	5
		-	-				
	4		1		2	3	7
		1	-				
スワジランド	3		0		1	1	4
		-	-				
	1		0		4	4	5
		-	-				
タンザニア	52		2		9	11	63
		1	1				
	57		4		9	13	70
		1	3				

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
トーゴ	1		0		0	0	1
		-	-				
	2		0		0	0	2
		-	-				
ウガンダ	8		1		0	1	9
		1	-				
	8		1		0	1	9
		-	1				
上ヴォルタ	1		0		1	1	2
		-	-				
	2		0		0	0	2
		-	-				
ザイール	11		1		0	1	12
		1	-				
	10		1		0	1	11
		1	-				
ザンビア	10		3		4	7	17
		3	-				
	11		1		9	10	21
		-	1				
ジンバブエ	8		2		2	4	12
		2	-				
	7		2		1	3	10
		2	-				
小計	322		41		57	98	420
		37	4				
	347		36		73	109	456
		25	11				

中南米地域

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
アルゼンティン	39		3		9	12	51
		2	1				
	40		3		9	12	52
		2	1				
バハマ	1		0		0	0	1
		-	-				
	1		0		0	0	1
		-	-				
バルバトス	4		0		1	1	5
		-	-				
	5		0		0	0	5
		-	-				
ボリヴィア	24		2		7	9	33
		2	-				
	25		2		8	10	35
		2	-				
ブラジル	104		17		30	47	151
		15	2				
	106		23		23	46	152
		18	3	2			
チリ	45		2		7	9	54
		2	-				
	42		3		7	10	52
		3	-				
コロンビア	42		2		5	7	49
		2	-				
	42		2		8	10	52
		2	-				
コスタ・リカ	14		3		0	3	17
		3	-				
	14		5		1	6	20
		4	1				
キューバ	2		1		0	1	3
		1	-				
	3		1		0	1	4
		1	-				
ドミニカ	1		0		0	0	1
		-	-				
	2		0		0	0	2
		-	-				
ドミニカ共和国	12		1		2	3	15
		1	-				
	13		1		4	5	18
		1	-				
エクアドル	13		1		6	7	20
		1	-				
	15		2		2	4	19
		2	-				

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
エル・サルヴァドル	8			0	0	0	8
	6	1	—	1	0	1	7
グレナダ	2	—	—	0	0	0	2
	3	—	—	0	0	0	3
グアテマラ	9	—	—	1	4	5	14
	9	2	1	3	2	5	14
ガイアナ	3	—	—	0	0	0	3
	4	—	—	0	0	0	4
ハイティ	1	—	—	0	0	0	1
	2	—	—	0	0	0	2
ホンデュラス	14	—	—	0	3	3	17
	15	1	—	1	7	8	23
ジャマイカ	9	—	—	0	0	0	9
	5	1	—	1	2	3	8
メキシコ	70			14	17	31	101
	日墨55	12	2	2			(156)
	65			13			96
ニカラグア	日墨55	10	3		18	31	(151)
	4	—	—	0	0	0	4
パナマ	3	—	—	0	0	0	3
	29	2	2	4	8	12	41
パラグアイ	29	2	1	3	10	13	42
	36	5	—	5	23	28	64
ペルー	38	3	—	3	21	24	62
	60	5	—	5	26	31	91
	62	5	1	6	23	29	91

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
スリナム	1		0		0	0	1
		—	—				
	1		0		0	0	1
		—	—				
セントルシア	2		0		0	0	2
		—	—				
	4		0		0	0	4
		—	—				
セントビンセント・グレナディーン	1		0		0	0	1
		—	—				
	2		0		0	0	2
		—	—				
トリニダード・トバゴ	4		0		0	0	4
		—	—				
	5		1		0	1	6
		1	—				
ウルグァイ	4		2		4	6	10
		2	—				
	6		2		5	7	13
		2	—				
ヴェネズエラ	24		0		4	5	29
		1	—				
	24		1		4	5	29
		1	—				
小計	582		64		156	220	802
	(637)	56	8				(857)
	591		77		154	231	822
	(646)	64	11	2			(877)

()内は日墨を含んだ数を示す

オセアニア地域

国名	集団	単 発			C・P	個別計	合計
		一般	特設	G・G			
フィジー	27		3		4	7	34
		2	1				
	32		3		7	10	42
		1	2				
ナウル	1		0		0	0	1
		-	-				
	1		0		0	0	1
		-	-				
バブア・ニューギニア	32		3		4	7	39
		3	-				
	33		3		2	5	38
		2	1				
トンガ	2		0		3	3	5
		-	-				
	5		1		5	6	11
		-	1				
西サモア	6		0		0	0	6
		-	-				
	5		0		1	1	6
		-	-				
キリバス	6		2		0	2	8
		2	-				
	6		0		0	0	6
		-	-				
トゥバル	1		0		0	0	1
		-	-				
	1		0		0	0	1
		-	-				
ソロモン諸島	7		2		0	2	9
		2	-				
	10		0		0	0	10
		-	-				
ミクロネシア	1		0		0	0	1
		-	-				
	2		0		0	0	2
		-	-				
ヴァヌアツ	1		2		0	2	3
		2	-				
	5		0		0	0	5
		-	-				
クック諸島	1		0		0	0	1
		-	-				
	0		0		0	0	0
		-	-				
小計	85		12		11	23	108
		11	1				
	100		7		15	22	122
		3	4				

その他地域

サイプラス	1	1			0	1	2
		1	-				
サイプラス	1	1			0	1	2
		1	-				
ギリシャ	0	0			0	0	0
		-	-				
ギリシャ	2	0			0	0	2
		-	-				
ポルトガル	0	0			0	0	0
		-	-				
ポルトガル	0	1			0	1	1
		1	-				
ユーゴスラヴィア	4	6			1	7	11
		6	-				
ユーゴスラヴィア	4	7			1	8	12
		7	-				
小計	5	7			1	8	13
		7	-				
小計	7	9			1	10	17
		9	-				
合計	2,833	501			814	1,315	4,148
	(2,888)	366	112	23			
	2,882	547					
	(2,937)	377	117	53			

()内は日墨を含んだ数を示す

昭和 5 9 年 度 新 設 集 団 コ ー ス

コ ー ス 名	定 員	期 間	関 係 省 庁	内 容
海 洋 保 全	5	59. 9. 13 ~ 59. 11. 9	海 上 保 安 庁 (沖 縄 支 部)	海洋保全是全世界の関心事であるが、当コースでは開発途上国の当該分野に従事する者を対象に日本近海の汚染の現状、海洋汚染に関する法律、汚染防止措置及びその取締りについて講義実習等を行ないその理解を深める。
稲 作 (専 修)	9	60. 3. 9 ~ 60. 11. 30	J I C A (筑 波 農 業 セ ン タ ー)	日本の稲標準栽培の把握及び稲栽培に係る品種、生理、作物保護、土壌肥料等の専門知識の向上を目的に、当該分野に従事する者に対し講義、実習を通じ、それらを習得せしめる。
公 衆 衛 生 技 術	5	59. 7. 5 ~ 60. 3. 31	J I C A (沖 縄 支 部)	開発途上国の公衆衛生機関に勤務する中堅技術者を対象に、地域社会の健康事象(疾病や環境汚染等)を調査するための疫学的手法及び物理的、化学的、生活的環境要素の分析検査方法を習得せしめる。
野 菜 採 種	10	60. 2. 7 ~ 60. 11. 30	J I C A (筑 波 農 業 セ ン タ ー)	近年、開発途上国においては野菜種子の需要が増大し、野菜採種技術習得の要望が高まっている。本コースでは野菜の採種栽培と種子の取扱いを主とした実験実習、幅広い見学及び専門講義を通じて、理論と実際を兼ね備えた視野の広い実践的な野菜採種技術者に育て上げることを目的とする。
視 聴 覚 技 術	10	60. 2. 1 ~ 60. 8. 31	J I C A (沖 縄 支 部)	視聴覚教材の制作に携わっている技術者を対象とし写真スライド16mm映画、OHP、印刷、ビデオ等の視聴覚メディアを利用した教材の制作、利用評価方法並びに機器の維持管理に係る総合的技術を習得せしめる。
教育テレビジョン番組(Ⅱ)	8	60. 1. 17 ~ 60. 3. 11	郵 政 省 (本 部 研 修 第 二 課)	開発途上国の当該分野の上級者に対し教育テレビジョン番組制作に係る手法等を習得せしめる。
エビ増養殖技術	6	59. 11. 23 ~ 60. 8. 31	J I C A (中 国 支 部)	開発途上国においてエビ増養殖を中心とする水産学教育及び実務に携わる人材に対し、我国の最新のエビ増養殖技術に関する必要な理論手法を教授するとともに実習を通じて実技能力を高め、各国におけるこの分野での指導者を養成することを目的に講義、実習演習を行なう。
選 鉱 製 錬	6	59. 7. 26 ~ 60. 8. 16	文 部 省 (東 北 支 部)	資源保有開発途上国では鉱物資源の附加価値を高めるために選鉱製錬の重要性が、急増しつつあり、資源分離工学、金属製錬等の一般教育の他、各研修員の専門分野の研修を行なう。
(計) 8 コ ー ス	59			

別添 4

昭和59年度集団コースの新設改廃及び定員増減表

コース名	58年度定員	59年度定員	増 減	備 考
1. 新設コース				
視 聴 覚 技 術	0	10	10	
教育テレビジョン番組(II)	0	8	8	
エビ増養殖技術	0	6	6	
選 鋳 製 錬	0	6	6	
海 洋 保 全	0	5	5	
桶 作 (専 修)	0	9	9	
公 衆 衛 生 技 術	0	5	5	
野 菜 採 種	0	10	10	
小 計	0	59	59	(8コース)
2. 隔年実施コース				
地 震 工 学 セ ミ ナ ー	10	0	△10	
国 際 捜 査 セ ミ ナ ー	16	0	△16	
窯 業 開 発 セ ミ ナ ー	9	0	△9	
交 通 警 察 行 政 セ ミ ナ ー	0	15	15	
織 維 機 械 工 業 セ ミ ナ ー	0	9	9	
看 護 管 理	0	9	9	
小 計	35	33	△2	(6コース)
3. 中絶コース				
コ ン プ ュ ー タ ー 技 術	15	0	△15	
上 級 コ ン プ ュ ー タ ー 技 術	10	0	△10	
小 計	25	0	△25	(2コース)

コース名	58年度定員	59年度定員	増減	備考
4. 改定員コース				
家畜人工授精	5	6	1	
工業所有権制度	10	12	2	
灌漑排水	14	12	△ 2	
郵政幹部セミナー	14	13	△ 1	
放送幹部セミナー	10	9	△ 1	
テレビジョン放送技術(I)	13	12	△ 1	
教育テレビジョン番組(I)	12	10	△ 2	
中近東電力	9	7	△ 2	
小計	87	81	△ 6	(8コース)
合計	147	173	26	

昭和 5 9 年度集団コース分類表

1. 関係省庁別分類

年 度 省庁名	5 9 年度コース		5 8 年度コース	
	コース数	比 率	コース数	比 率
会 計 検 査 院	1	0.5 %	1	0.5 %
人 事 院	1	0.5	1	0.5
藩 察 庁	2	1.1	2	1.1
行 政 管 理 庁	2	1.1	2	1.1
経 済 企 画 庁	2	1.1	2	1.1
科 学 技 術 庁	3	1.6	5	2.7
環 境 庁	2	1.0	2	1.1
国 土 庁	1	0.5	1	0.5
法 務 省	3	1.6	3	1.6
大 蔵 省	4	2.1	4	2.2
文 部 省	5	2.6	4	2.2
厚 生 省	15	7.9	15	8.1
農 林 水 産 省	12	6.3	12	6.5
通 商 産 業 省	47	24.6	47	25.4
運 輸 省	18	9.6	17	9.2
郵 政 省	24	12.6	23	12.4
労 働 省	11	5.8	11	5.9
建 設 省	13	6.8	14	7.6
自 治 省	2	1.1	2	1.1
J I C A	23	12.1	17	9.2
合 計	191	100.0	185	100.0

2. 業種別分類

業 種 名	コ ー ス 数	比 率
開 発 計 画	3	1.6
行 政	17	8.9
公 益 事 業	3	1.6
運 輸 交 通	17	8.9
社 会 基 礎	13	6.8
通 信 ・ 放 送	25	13.1
農 業	17	8.9
畜 産	3	1.6
林 業	3	1.6
水 産	7	3.7
鉱 業	5	2.6
工 業	36	18.9
エ ネ ル ギ ー	6	3.1
商 業 ・ 貿 易	3	1.6
観 光	1	0.5
人 的 資 源	6	3.1
科 学 ・ 文 化	2	1.0
保 健 ・ 医 療	18	9.4
社 会 福 祉	6	3.1
合 計	191	100.0

3. 受入機関別分類

区 分	コ ー ス 数	比 率
国 の 機 関	79	41.3
地 方 公 共 団 体	12	6.3
公 社 公 団	12	6.3
公 益 法 人	63	33.0
民 間	12	6.3
J I C A	13	6.8
合 計	191	100.0

4. 受入期間別分類

期 間	コ ー ス 数	比 率
1 月 未 満	8	4.2
1 月 以 上 2 月 未 満	42	22.0
2 月 以 上 3 月 未 満	48	25.1
3 月 以 上 6 月 未 満	49	25.6
6 月 以 上 1 年 未 満	41	21.5
1 年 以 上	3	1.6
合 計	191	100.0

5. 国内センター・支部分類

センター・支部名	コース数	比率
八王子国際研修センター	12	6.3 %
大阪国際研修センター	13	6.8
名古屋国際研修センター	18	9.4
筑波インターナショナルセンター	15	7.8
筑波国際農業研修センター	7	3.7
神奈川国際水産研修センター	5	2.6
兵庫インターナショナルセンター	5	2.6
東 北 支 部	2	1.1
中 国 支 部	1	0.5
九 州 支 部	3	1.6
沖 縄 支 部	4	2.1
(センター・支部小計)	(85)	(44.5)
本 部	106	55.5
合 計	191	100.0

別添 6

昭和59年度カウンター・パート事業部別計画表

事業部課名	58年度		59年度
	計画数	実績	計画数
派遣第一課	92	101	96
派遣第二課	39	33	45
医療協力課	95	101	102
医療協力特別業務室	18	16	21
開発調査第一課	39	36	42
開発調査第二課	43	38	39
海外センター課	99	105	113
農林水産技術課	26	28	26
農業開発課	4	5	4
畜産開発課	34	32	36
農業技術協力課	62	55	70
林業開発課	25	22	25
水産業技術協力室	17	17	19
工業調査課	22	22	22
資源調査課	55	53	55
鉦工業開発技術課	95	93	100
地域課	3	5	5
移住計画課	3	4	3
基本設計課	4	2	—
業務課	16	15	21
協力隊国内課	10	10	11
研修事業部管理課	13	14	16
合計	814	807	871

